

平成26年度 甲賀市公開事業評価 実施結果



1. 趣旨

市が実施している事業の必要性や実施方法等について、市民の視点で事業を評価することにより、より効果的・効率的な行政運営を推進します。

◎経費の削減ありきという考え方ではなく、最小の経費で最大の効果を上げるという視点により、今後の取組みに反映させるものです。

◎事業の経費、成果、取組み方などについて、市民への説明責任を果たすとともに、職員のコスト意識、成果主義意識の醸成を図ります。

2. 実施日時

平成26年 9月14日(日) 9:00~17:15

3. 実施場所

甲賀公民館(かゐか生涯学習館) 研修室 甲賀市甲賀町大原中 886 番地

4. 参観者数

107名

5. 判定区分別判定結果 ※ () 内は事業担当部署

◇コーディネーターが、事業評価員の議論を総括し、事業評価員の多数決により判定区分を決定したものです。

【① 不要・民営化】

該当無し

【② 抜本の見直し】

◇No.4 甲賀ブランドの創設・発信事業 (産業経済部 観光企画推進室)

◇No.8 介護支援事業〔任意事業〕 (健康福祉部 長寿福祉課)

【③ 国・県・広域等で実施】

該当無し

【④ 市が実施 内容、規模等の見直しにより実施】

◇No.1 消防活動推進事業 (市長直轄組織 危機管理課)

◇No.2 コミュニティバス運行事業 (総合政策部 公共交通推進室)

◇No.5 住基カード運用事業 (市民環境部 市民課)

◇No.6 市営住宅管理運営事業 (建設部 住宅建築課)

◇No.7 都市公園等管理運営事業 (建設部 建設管理課)

◇No.9 図書館運営事業 (教育委員会事務局 図書館)

◇No.10-1 信楽中央病院運営事業 (信楽中央病院)

【⑤ 市が実施 手法等の見直しにより実施】

◇No.10-2 みなくち診療所運営事業 (水口医療・介護センター)

【⑥ 市が実施 現行どおりまたは拡大して実施】

◇No.3 住宅リフォーム助成事業 (産業経済部 商工政策課)

6. 今後の取組み

事業評価の結果は市の最終決定では無く、事業評価での議論や結果を参考に事業の今後のあり方等について検証し、次年度以降の取組みの改善や予算に反映させていきます。

7.各事業の意見集約

平成26年度 甲賀市公開事業評価 意見集約シート

作成：A班コーディネーター

事務事業No.	1	事業名	消防活動推進事業
---------	---	-----	----------

事業評価員 5名

班の判定結果 ④市実施 内容、規模見直し	① 不要・民営化	名
	② 抜本的見直し	1名
	③ 国、県、広域実施	名
	④ 市実施 内容、規模見直し	4名
	⑤ 市実施 手法直し	名
	⑥ 市実施 現行通り、拡大	名

班としての統一意見

- ・ 必須の事業で、事業の重要性、消防団の維持強化の必要性は共有された。
 その上で、合併前の旧町の定数の合計となっている定数、体制について再検討してほしい。
- ・ 山林部を抱えている大津市と比べて著しく定数は多い。定数の削減も検討される。
 また、地域によってニーズが異なるので、適切に部、班体制を見直してほしい。あまりに少数の班は統合することも必要であろう。
- ・ 若い団員のリクルーティングの強化も必要である。消防団のサイトを構築し、消防団がどういう役割を担っているのか、何をしているかをわかりやすく伝えることも必要である。消防団員の確保や災害時の協力など地元企業との関係強化も求められる。
- ・ ポンプ操法訓練も大切であるが、実質的な訓練に力を注ぎ、早朝からのポンプ操法訓練があるから入りたくないなどの風評を払拭することが必要である。消防団に入ることが若い時代の義務であり、あこがれようになってほしい。
- ・ なお、常備消防と混乱するので、名称は「消防団活動推進事業」とすべきである。

平成26年度 甲賀市公開事業評価 意見集約シート

作成：A班コーディネーター

事務事業No.	2	事業名	コミュニティバス運行事業
---------	---	-----	--------------

事業評価員5名

班の判定結果	④市実施 内容、規模見直し	① 不要・民営化	名
		② 抜本的見直し	2名
		③ 国、県、広域実施	名
		④ 市実施 内容、規模見直し	3名
		⑤ 市実施 手法直し	名
		⑥ 市実施 現行通り、拡大	名

班としての統一意見

- ・担当者は状況をよく理解しており、問題意識は高い。
- ・多くの市税を投入しており、受益者よりも使わない市民の負担が大きい。実際の毎日の利用者は2,000人程度であり、効率化も必要である。
- ・まずは、わかりやすい時刻表、路線図の提供などの利用増進策が必要である。現在の時刻表は字が小さく、お年寄りでも見えるようなサイズへの変更、全世帯への配布、地域への説明などが必要である。今回、路線ごとの乗客数、収支を公開したことを評価する。
- ・市民や事業者に現状を知ってもらうことが大切である。地域の人に当事者意識を持ってもらい、将来的には地域での自主運行バスへの展開も視野に入れるべきである。
- ・1便当たり乗車人数が1人以下の路線も多く、基準を作った上で基準を満たさない場合は減便、路線の縮小、コミュニティタクシー、自主運行バスへの変更を検討すべきである。コミュニティタクシーはサービス水準の維持、効率化を両立させ、積極的に導入したほうがいい。
- ・バス会社との契約方式もプロポーザル方式、総合評価方式の導入など競争環境を形成し、効率化を図ることが検討される。
- ・合併後10年も経ったので、名称も「甲賀コミュニティバス」や「甲賀ハートバス」などに統一することを検討してほしい。市民にわかりにくい現状がある。
- ・利用者分析、収支分析、利用者や地域の声の把握をして頂き、全体計画の策定を行うことも検討してほしい。

平成26年度 甲賀市公開事業評価 意見集約シート

作成：A班コーディネーター

事務事業No.	3	事業名	住宅リフォーム事業
---------	---	-----	-----------

事業評価員5名

班の判定結果	⑥市実施 現行通り、拡大	① 不要・民営化	1名
		② 抜本的見直し	1名
		③ 国、県、広域実施	名
		④ 市実施 内容、規模見直し	1名
		⑤ 市実施 手法直し	名
		⑥ 市実施 現行通り、拡大	2名

班としての統一意見

- ・緊急雇用対策として、他市と比べても、規模が大きく、利用者、事業者ともに数が多く、地域経済効果を出していることを高く評価する。
- ・今年度はこれまでの利用者、事業者に対してアンケート調査をした上で、平成27年度以降は事業拡大か事業廃止の決定をすべきである。
- ・ニーズが一定程度あれば、期限を決めて、定住、移住対策として貸家を対象に加えることも検討される。なお、継続する場合、高額所得者を対象外とすべきである。
- ・ニーズが少ない場合は、税金の投入を継続的にすることは止め、一旦終了すべきである。

平成26年度 甲賀市公開事業評価 意見集約シート

作成：A班コーディネーター

事務事業No.	4	事業名	甲賀ブランドの創設・発信事業
---------	---	-----	----------------

事業評価員5名

班の判定結果	② 抜本の見直し	①不要・民営化	名
		②抜本の見直し	5名
		③国、県、広域実施	名
		④市実施 内容、規模見直し	名
		⑤市実施 手法直し	名
		⑥市実施 現行通り、拡大	名

班としての統一意見

- ・ゼロベースでの抜本的な見直しが必要である。
- ・観光集客を目的としているというが、ブランド認定と会議の運営に注力せざるを得なく、具体的な集客に動けていない。ブランド認定された商品も販売に結びつけていない。結果的に、観光客の増加、商品販売額の増加に結びついていない。
- ・現状のままでは、民間事業者も意欲がなくなるのではないかという危惧を持った。
- ・甲賀ブランドのホームページの立上げが必要であり、あらゆる観光関係の印刷物に甲賀ブランドを入れるべきである。集客に関しては、ブランド認定された場所や食べ物を味わう観光コース開発が必要で、それを旅行業者に売り込みにいかないといけない。また、主要ホテル、道の駅、市内にある新名神のサービスエリアやパーキングエリアなどでは、ブランド認定商品を購入又はPRができるようにすべきである。
- ・都市ブランドの向上は甲賀市において非常に重要で、かつ可能性がある。本当に産業経済部観光企画推進室の所管でいいのか、観光集客と一旦切り離し、ブランド戦略は総務もしくは企画にブランド振興室を設置して市全体の取組にした方がいいのではないか。
- ・また、民間人材の登用が必要ではないか。先行的に実施している佐野市（総合政策部）、宝塚市（産業文化部）などの取組を視察して、体制や人材、ブランド戦略の中味を抜本的に考え直してほしい。

平成26年度 甲賀市公開事業評価 意見集約シート

作成：A班コーディネーター

事務事業No.	5	事業名	住基カード運用事業
---------	---	-----	-----------

事業評価員5名

班の判定結果	④市実施 内容、規模見直し	①不要・民営化	名
		②抜本的見直し	名
		③ 国、県、広域実施	名
		④ 市実施 内容、規模見直し	5名
		⑤ 市実施 手法直し	名
		⑥ 市実施 現行通り、拡大	名

班としての統一意見

- ・平成28年度に個人番号カードの発行が予定されているので、無駄な支出となる住基カード普及事業は止めるべきである。
- ・コンビニは出張所よりも数が多く、個人番号カード導入時には自動交付機をコンビニ交付に置き換えることが望ましい。
- ・導入済みの他市への状況把握や費用見積りなど、コンビニ交付実施に向けての検討に入るべきである。もちろん、コンビニ交付導入後も窓口での交付のサービス水準（夜間など）は当面の間、落とすべきではない。

平成26年度 甲賀市公開事業評価 意見集約シート

作成：B班コーディネーター

事務事業No.	6	事業名	市営住宅管理運営事業
---------	---	-----	------------

事業評価員6名

班の判定結果	④市実施 内容、規模見直し	① 不要・民営化	名
		② 抜本的見直し	1名
		③ 国、県、広域実施	名
		④ 市実施 内容、規模見直し	4名
		⑤ 市実施 手法直し	1名
		⑥ 市実施 現行通り、拡大	名

班としての統一意見

- ・長寿命化計画、建替計画、民間住宅の活用、PFIの導入等、さらには、高齢者、生活保護など福祉対策も含めたマスタープラン及び実施計画の作成が必要である。
- ・併せて、空き家の解消、ソーシャルミックス等の観点からも、恒久的な家賃補助制度も検討いただきたい。
- ・併せて、用途廃止による土地の有効活用も検討いただきたい。
- ・一方、公営住宅はセーフティーネットや防災、緊急避難、過疎化対策、地域活性化等の観点からも必要な政策と考える。
- ・今後とも市民ニーズの的確な把握に努め、市全体のバランス、アクセス等を考慮した整備を望む。

平成26年度 甲賀市公開事業評価 意見集約シート

作成：B班コーディネーター

事務事業No.	7	事業名	都市公園等管理運営事業
---------	---	-----	-------------

事業評価員6名

班の判定結果	④市実施 内容、規模見直し ④、⑤同数のためコー ディネーターが総括し て判定	① 不要・民営化	名
		② 抜本的見直し	名
		③ 国、県、広域実施	名
		④ 市実施 内容、規模見直し	3名
		⑤ 市実施 手法直し	3名
		⑥ 市実施 現行通り、拡大	名

班としての統一意見

- ・都市公園、条例公園、その他公園を合わせ151もある公園の用途、管理運営方法について見直していくべき。
- ・具体的には、各公園の用途、必要性を改めて整理したうえで、民間業者や地元自治会・自治振興会への譲渡、指定管理、委託等あるいは用途廃止の方針を整理すべき。
- ・施設の安全管理等が必要な公園は専門的な民間業者への指定管理等を促進すべきだが、その他の公園については、地域づくりの拠点としての活用の面からも地元への管理協定等が望ましい。
- ・また、公園管理部署の一元化や複数の公園、管理業務についての一括指定管理など、一層の効率化に努められたい。

平成26年度 甲賀市公開事業評価 意見集約シート

作成：B班コーディネーター

事務事業No.	8	事業名	介護支援事業（任意事業）
---------	---	-----	--------------

事業評価員5名

班の判定結果	② 抜本的見直し	① 不要・民営化	1名
		② 抜本的見直し	2名
		③ 国、県、広域実施	名
		④ 市実施 内容、規模見直し	1名
		⑤ 市実施 手法直し	名
		⑥ 市実施 現行通り、拡大	1名

班としての統一意見

- ・現状の介護支援事業（任意事業）の政策的位置づけを明確にされたい。（例えば、地域支援事業のどの位置づけにあるのか、国の介護保険事業へ移行していくべきものは移行していくなど）
- ・多様なニーズに対応した介護用品や配食サービスについて、検討されたい。
- ・また、申請者だけで良いという考え方では無く、現在利用されていない層への支援をどう考えるかも検討されたい。
- ・また、安否確認等は、行政だけでなく、地域や民間企業との協働も考えていくべき。

平成26年度 甲賀市公開事業評価 意見集約シート

作成：B班コーディネーター

事務事業No.	9	事業名	図書館運営事業
---------	---	-----	---------

事業評価員5名

班の判定結果	④市実施 内容、規模見直し	①不要・民営化	名
		②抜本的見直し	名
		③国、県、広域実施	名
		④市実施 内容、規模見直し	3名
		⑤市実施 手法直し	2名
		⑥市実施 現行通り、拡大	名

班としての統一意見

- ・地域の拠点として、公立図書館ならでの、さらなる機能の強化（まちづくりへの寄与、レファレンス業務、自習室、交流スペースの拡充等）に努められたい。その際、市全体からみた各館の役割、機能分担等についても検討されたい。
- ・そのうえで立地やアクセス、移動図書館などのあり方についても検討されたい。
- ・行政としての客観的な視点から運営形態の合理化、効率化に対して常に意識を持って検討されたい。
- ・職員の人事交流や成果指標の設定にも工夫が必要であり、市民に期待される図書館運営に努められたい。

平成26年度 甲賀市公開事業評価 意見集約シート

作成：B班コーディネーター

事務事業No.	10-1	事業名	信楽中央病院運営事業
---------	------	-----	------------

事業評価員5名

班の判定結果	④市実施 内容、規模見直し	① 不要・民営化	名
		② 抜本的見直し	1名
		③ 国、県、広域実施	名
		④ 市実施 内容、規模見直し	3名
		⑤ 市実施 手法直し	名
		⑥ 市実施 現行通り、拡大	1名

班としての統一意見

- ・甲賀市内の立地条件等を考えると、今後も継続する必要がある。
- ・しかしながら、一般会計からの繰り出しが多いことから、民間医療機関、国立・県立病院とのネットワークを踏まえ、市立病院として担うべき役割、位置づけを再検討されたい。
- ・また、開業医を誘致する環境整備も併せて考えるべき。

平成26年度 甲賀市公開事業評価 意見集約シート

作成：B班コーディネーター

事務事業No.	10-2	事業名	みなくち診療所運営事業
---------	------	-----	-------------

事業評価員5名

班の判定結果	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">⑤市実施 手法見直し</div> ①、⑤同数のためコーディネーターが総括して判定	①不要・民営化	2名
		② 抜本的見直し	1名
		③ 国、県、広域実施	名
		④ 市実施 内容、規模見直し	名
		⑤ 市実施 手法直し	2名
		⑥ 市実施 現行通り、拡大	名

班としての統一意見

- ・ 周辺に民間医療機関が多いことから、行政が診療所を直営する必要性は低いのではないかと考える。
- ・ 設置されて間もないので、しばらくは現行通りもやむを得ないと思うが、長期的には民間委託等も視野に入れるべき。
- ・ 診療所は廃止し、隣接する介護施設との連携、ケアセンターとしての拡充を図るという選択肢もあるのではないかと考える。